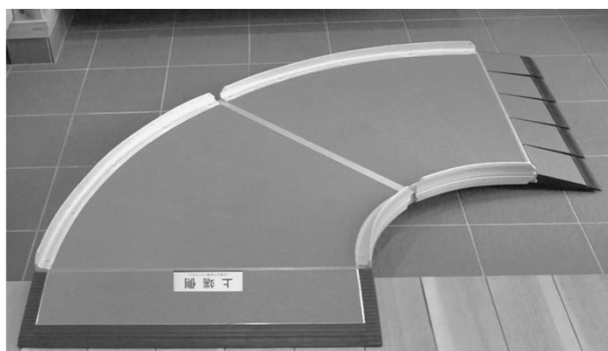


この度は、「Zスロープ 微笑の朝顔」をお求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本書には、製品の組み立て方と使い方、ならびに使用上の注意事項について記載しています。

ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

また、本書はいつでも見られるところに大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意	1~2
仕様	3
各部の名称と材質	4
設置調整目安表	5~6
設置方法	7~9
収納方法	9
保管方法	10
お手入れ方法	10
保証書	11

用途



車いす専用の段差解消スロープです。
スペースに限りがある場所において、段差への進入方向を変えることができます。

特徴



段差への進入方向を変えることができ、スロープ設置の自由度を広げます。

安全上のご注意



製品を安全に使用していただくために、特に守っていただきたい注意事項を記載しています。ご使用前に必ず読んでいただき、理解した上でご使用いただきますようお願いいたします。

 警告	この表示の内容を無視して誤った使い方をすると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して誤った使い方をすると、傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

取扱い上のご注意

 警告	<ul style="list-style-type: none">・この製品は車いす専用の段差解消スロープです。ほかの用途で使用しないでください。・最大耐荷重は250kgです。これを超える使用はしないでください。・衝撃荷重はかけないようにご注意ください。・平らな面以外に設置しないでください。・脚に横方向の力を与えないでください。・取扱説明書にない分解をしたり、修理・改造をしないでください。
 注意	<ul style="list-style-type: none">・アンカー等でスロープを固定しないでください。・走行面が破損するおそれがありますので、ハイヒールや傘のような突起物で衝撃を与えないでください。・車いすのフットサポート及び転倒防止バーの調整が不十分な場合は、怪我または製品本体を傷つけるおそれがあります。接触しないように調整を行った上で使用してください。・屋外に長時間置きますと、砂が付いたり、太陽光により高温になり、すべり止めシート、樹脂等が劣化しやすくなるのでご注意ください。・定期的に点検をおこない、がたつきやねじの緩み、部品の破損がないことを確認してください。

使用上のご注意

 警告	<ul style="list-style-type: none">・安全のため、自走はしないでください。走行は必ず介助者同伴でおこなってください。・設置・収納は必ず介助者がおこなってください。・設置するには事前に設置面の状態を確認してください。(砂、雪、氷、凹凸面など滑りやすい場所や不安定な場所への設置はしないでください。)・設置、収納する際に、指を挟みこまないようにご注意ください。・走行面に砂や異物の付着がないこと、傷等の異常がないことを確認してください。・暗い場所での使用はしないでください。・公道などの道路近くで使用する場合は、スロープが道路にはみ出さないようにしてください。スロープが道路にはみ出ると、車両や人の安全な通行を妨げ、事故につながるおそれがあります。・設置後、ズレ・がたつきがないことを確認してください。・使用する前に各部を点検した後、使用してください。・他社製品との組み合わせによる使用で発生した破損・事故につきましては責任を負いかねます。
 注意	<ul style="list-style-type: none">・運搬する際は、脚ではなく取っ手部分を持ち、人や物に接触しないよう、前後左右を確認しながらおこなってください。・長く使用していただくために、引きずったりしないようにご注意ください。・固定式ではないため、設置後も安定性にご確認ください。・走行面のみに滑り止め加工を施しています。表裏を確認のうえ使用してください。・製品の一部に剥がれ・割れ・変形等の異常や劣化がある場合は、直ちに販売店に修理または交換を依頼してください。

走行上のご注意



警告

- ・スロープを上る時、下る時、それぞれの走行の介助の向きを厳守してください。
- ・スロープ中央に、ゆっくりと進入してください。
急いで進入すると、衝撃でスロープががたついたり、跳ねたりして危険です。また、斜めのまま進入すると脱輪しやすくなり、転倒のおそれがあります。
- ・介助者の方はスロープの中央を歩いてください。
カーブ外側を歩くとスロープががたつくおそれがあります。
- ・走行面で急停止しないでください。
- ・スロープの傾斜角度が急になると危険です。対応段差の範囲内で使用してください。
- ・スロープを歩行する方は、滑りにくく安定した履き物をご利用ください。
(危険な履き物：ハイヒール、ゲタ、サンダルなど)



注意

- ・この製品はらせん形状ですので、十分に安全を確認しながら慎重に走行してください。
- ・車いすの車輪がサイドエッジに当たらないように走行してください。
- ・車いすに乗っている方およびその介助者以外は乗らないでください。

上る時は、介助者が後ろから支えるようにして前向きで上がってください。

下る時は、介助者が後ろから支えるようにして後ろ向きで下ってください。



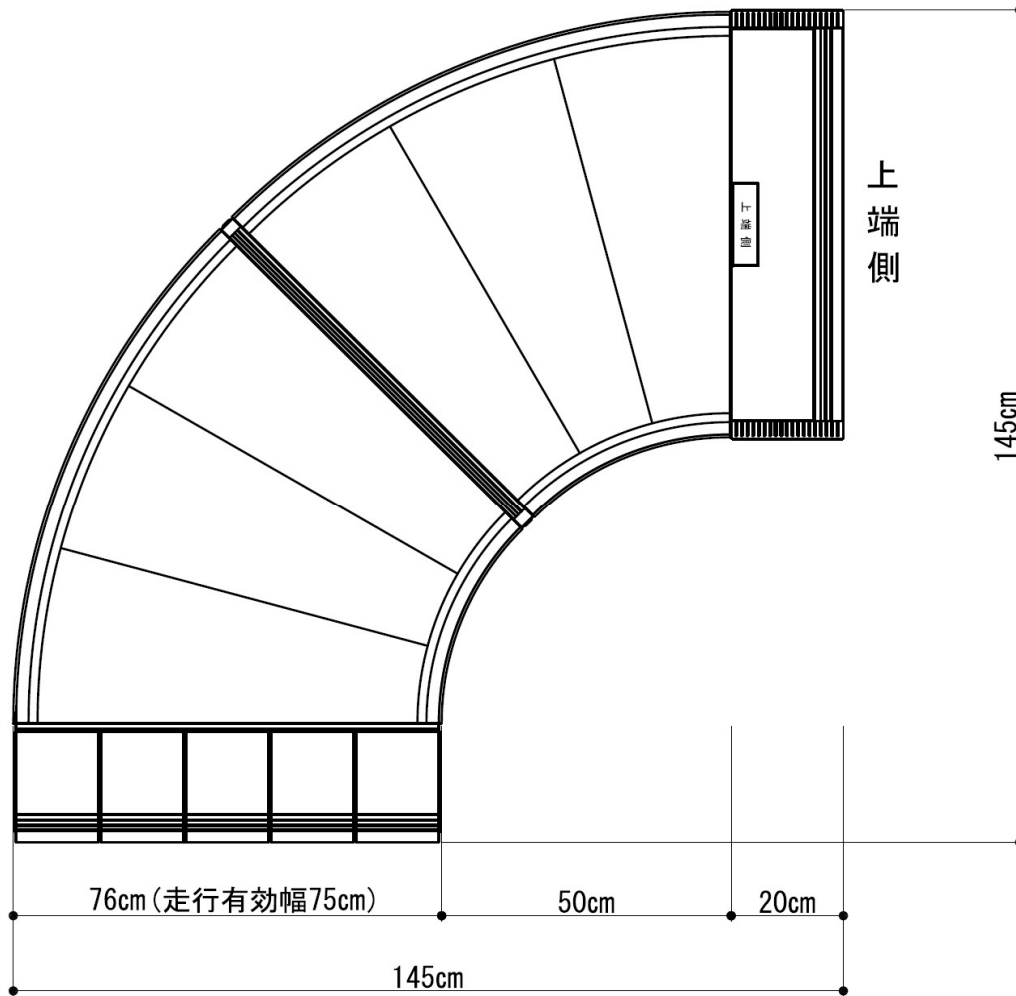
自走しないでください。走行は必ず介助者同伴でおこなってください。



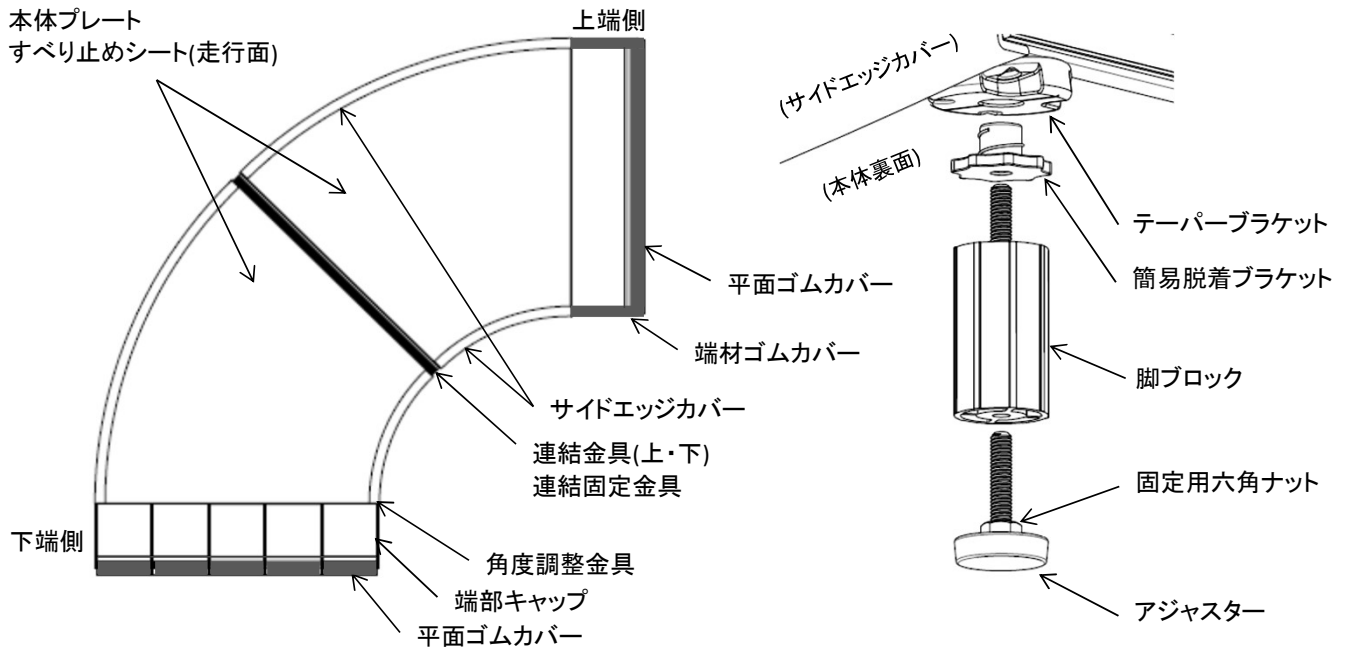
仕様

品名	品番	重量	対応段差
Zスロープ 微笑の朝顔 右	642-100	約16.8kg	10cm~20cm
Zスロープ 微笑の朝顔 左	642-200		

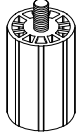



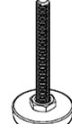

重量は、脚ブロック、アジャスターを含んでいません。





各部の名称と材質



付属品

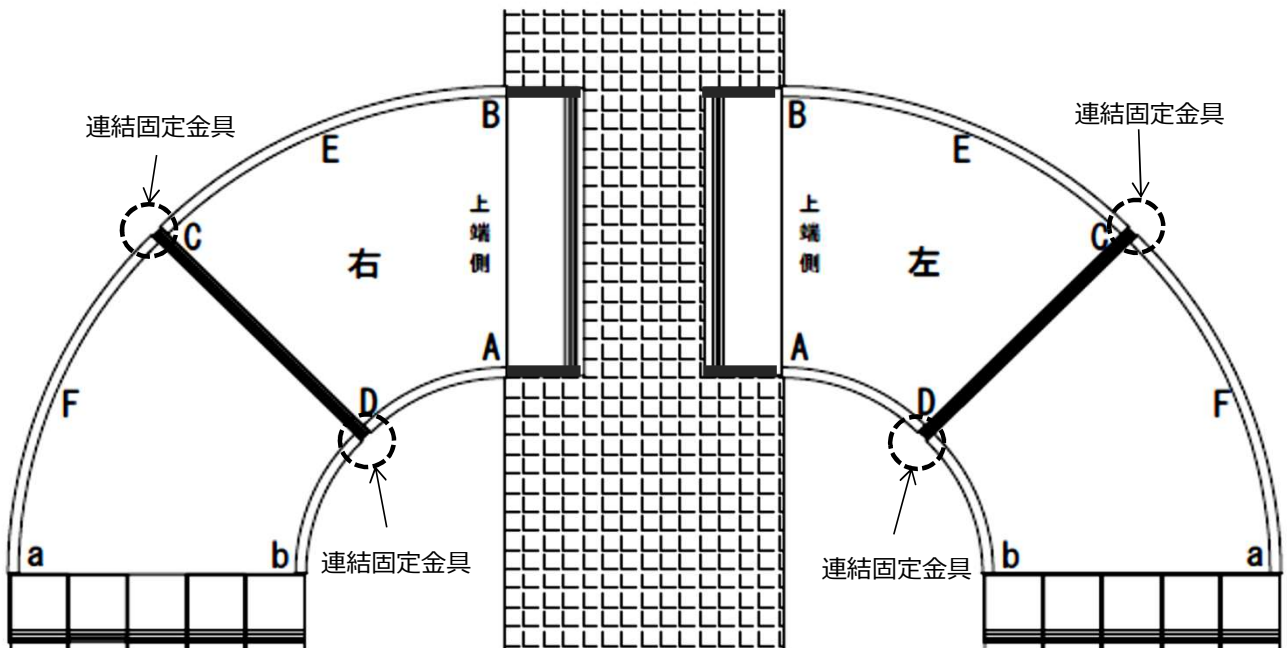
脚ブロック(7cm)	アジャスター				板スパナ
	①	②	③	④	
	※固定用 六角ナット無し 				
6個	2.4cm 1本	4.4cm 4本	6.3cm 4本	9.8cm 4本	対辺17mm 1本

連結固定金具	立置台
	
2個/1set	2台/1set

部品名	材質	部品名	材質
本体プレート	アルミ、FRP、樹脂	角度調整金具	アルミ
サイドエッジカバー	樹脂	平面ゴムカバー	ゴム
テーパーブラケット	樹脂	端材ゴムカバー	ゴム
簡易脱着ブラケット	樹脂	端部キャップ	樹脂
脚ブロック	樹脂、ステンレス	連結金具(上/下)	アルミ
アジャスター	ステンレス、ゴム	連結固定金具	ステンレス、樹脂
固定用六角ナット	ステンレス	立置台	天然木
板スパナ	スチール		

設置調整目安表

脚調整の目安として、P6の表を参照してください。
 設置場所によって異なりますので、走行面全体にがたつきがないようにアジャスターを調整してください。

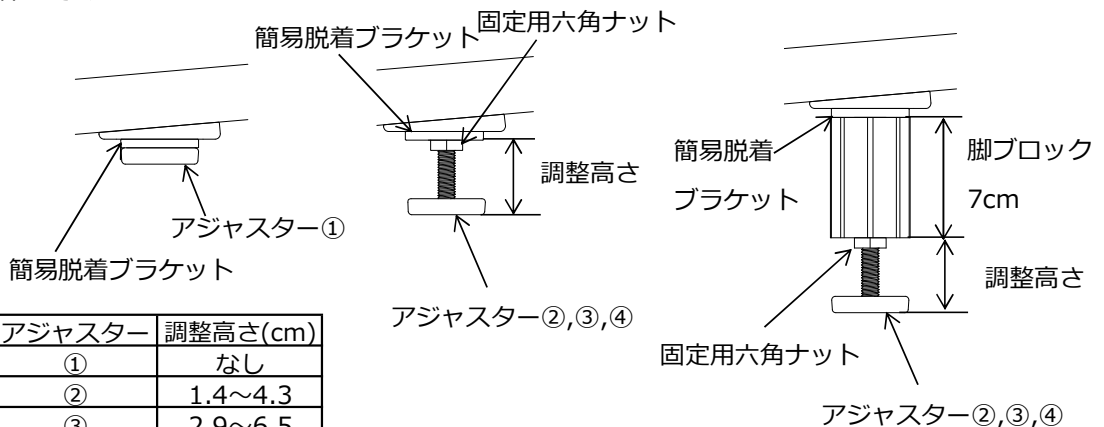


☞ CHECK !

- ・ A～Fの6カ所には必ずアジャスターを取り付けしてください。
- ・ a,bには、アジャスターを取り付けない、またはどちらか一方にアジャスターを取り付けしてください。
- ・ 連結固定金具は必ず2カ所取り付けしてください。

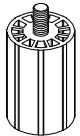





- ・ 脚ブロック、アジャスターを取り付ける際は、脚位置に簡易脱着ブラケットが付いていることを確認してください。
- ・ アジャスターの調整高さ（下記表）を守って地面と接触するまで調整してください。
- ・ アジャスター②③④を使用する場合は、ゆるみを防止するために必ず固定用六角ナットを付属品の板スパナでしっかり締めてください。
- ・ アジャスター①は高さ調整ができません。簡易脱着ブラケットと隙間がないようにしっかり締めてください。



表：アジャスターの調整高さ

脚位置 段の高さ	脚位置
	脚ブロック数 アジャスター

脚ブロック	アジャスター			
	①	②	③	④
 ※固定用六角ナット無し 2.4cm	 4.4cm	 6.3cm	 9.8cm	

※ P5 表 : アジャスターの調整高さを必ず守ってください。

脚位置 段の高さ	A	B	C	D	E	F	a	b
10cm	1個	1個	—	—	—	—	—	—
	②	②	④	③	④	③	②	—
11cm	1個	1個	—	—	—	—	—	—
	②	②	④	③	④	③	②	—
12cm	1個	1個	—	—	1個	—	—	—
	②	②	③	③	②	②	①	—
13cm	1個	1個	—	—	1個	—	—	—
	③	③	③	③	②	②	—	—
14cm	1個	1個	—	—	1個	—	—	—
	③	③	③	④	②	②	—	—
15cm	1個	1個	—	—	1個	—	—	—
	④	④	③	④	②	②	—	①
16cm	1個	1個	—	—	1個	—	—	—
	④	④	④	④	②	②	—	①
17cm	1個	1個	—	1個	1個	—	—	—
	④	④	④	②	③	②	—	②
18cm	1個	1個	—	1個	1個	—	—	—
	④	④	④	②	③	②	—	②
19cm	2個	2個	—	1個	1個	—	—	—
	③	②	④	②	③	②	—	②
20cm	2個	2個	—	1個	1個	—	—	—
	③	③	④	③	③	②	—	②

設置方法

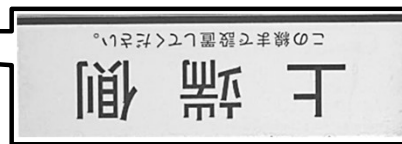
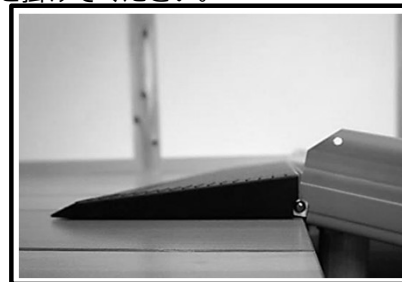
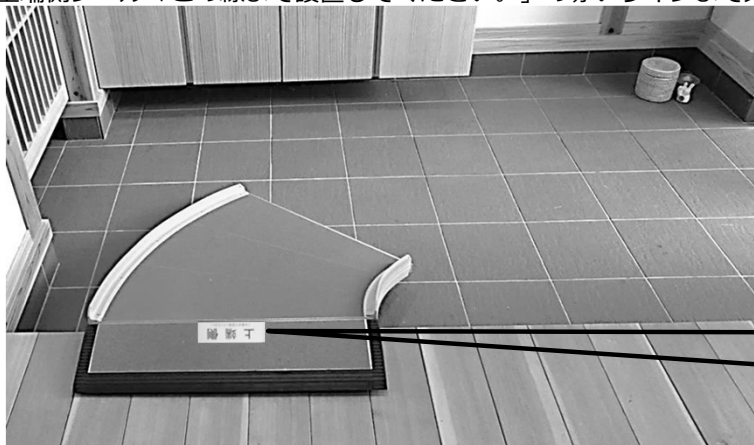
※設置場所に合った調整が必要です。

設置は納入業者、または介助者の方におこなって頂きますようお願いいたします。

【必要な工具：スパナ(対辺17mm)※付属】

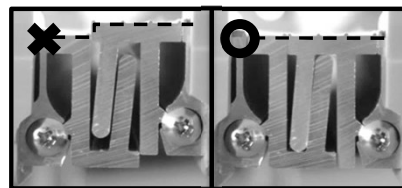
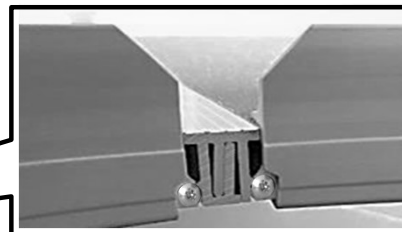
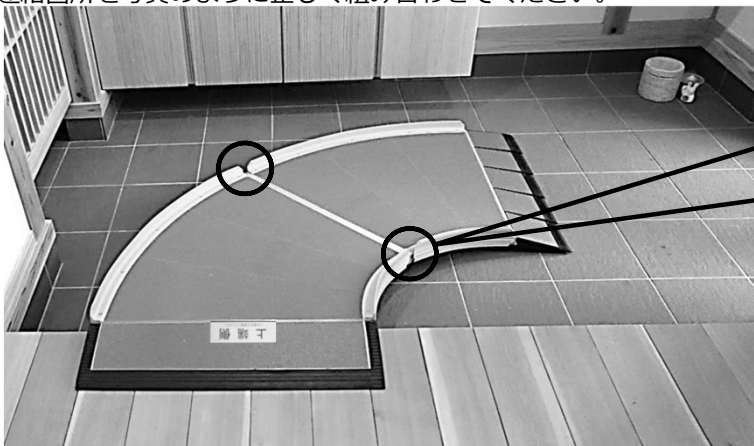
①上端側の本体を段に乗せ掛ける。

上端側シール「この線まで設置してください。」の赤いラインまで乗せ掛けてください。



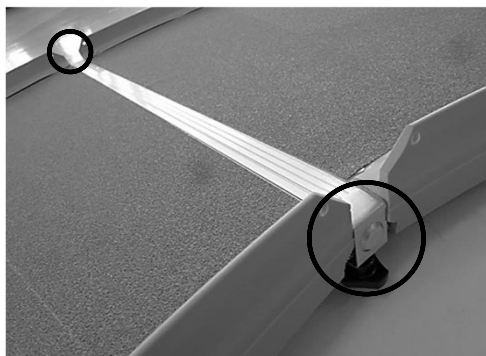
②上端側の本体と下端側の本体を連結する。

連結箇所を写真のように正しく組み合わせてください。



③連結箇所の両端に連結固定金具を取り付ける。

連結固定金具のツマミを回して固定し、取り付けてください。
(※ツマミは下向きでも上向きでも取り付け出来ます。)



👉 CHECK !

- ・ 連結固定金具はスロープ本体のビスが干渉するため、隙間が生じますが、通常使用においては問題ありません。
- ・ 連結固定金具は手締めでしっかりと固定してください。

ここからは設置調整目安表(P5,6)を参照しながら進めてください。

※開封時は、本体の脚位置に簡易脱着ブラケットが付いていますので、脚ブロックまたはアジャスターをそのまま脚位置に取り付けてください。

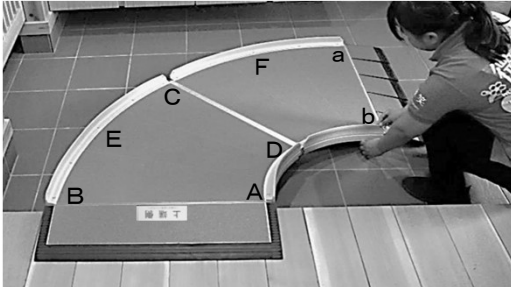
④脚ブロック、アジャスターを取り付ける。《脚位置 A, B》

上端側 A, B に段の高さに合わせて脚ブロック、アジャスターを取り付けてください。
段の高さに調整した後は、アジャスターの固定用六角ナットを付属品の板スパナでしっかり締めてください。



⑤アジャスターを取り付ける。《脚位置 a または b》

下端側の脚位置 a または b の一方にアジャスターを取り付け、地面に触れるまで調整してください。



👉 CHECK !

- 「段の高さ：10～12cm」
Aの脚が地面から浮かないように、aを調整する。
- 「段の高さ：13～15cm」
a/bなし。設置場所の必要に応じて取り付ける。
- 「段の高さ：16～20cm」
Bの脚が地面から浮かないように、bを調整する。

アジャスター①を使用して地面と接触していない場合はアジャスター②に取り換えしてください。

⑥手順に沿って脚ブロック、アジャスターを取り付ける。

段の高さ：10～12cmの場合		段の高さ：13～20cmの場合	
脚位置	注意事項	脚位置	注意事項
手順1	F この時点では、脚位置Aが地面から浮いているので、Aの脚が接地するように調整する。	C	本体が自然に下がった状態に合わせる。 連結箇所が持ち上がって隙間ができない事。
がたつき確認。がたつきがある場合は、FまたはCを再調整してください。			
手順2	C 本体が自然に下がった状態に合わせる。 連結箇所が持ち上がって隙間ができない事。	D	本体が自然に下がった状態に合わせる。
手順3	D 本体が自然に下がった状態に合わせる。	E	〃
手順4	E 〃	F	〃
がたつき確認。がたつきがある場合は、手順2・3・4の再調整を繰り返してください。			

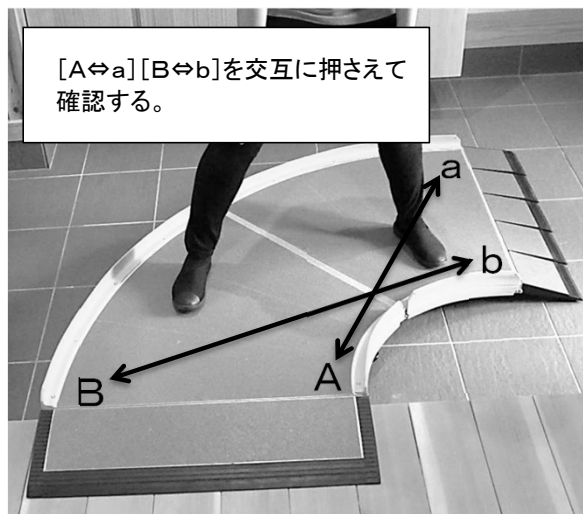
👉 CHECK !

脚位置A/B以外を調整する場合、調整済みの脚に影響するので、アジャスターの調整は地面に触れるまでとし、本体が持ち上がらないように注意してください。
アジャスターを調整する場合、P5 表：アジャスターの調整高さにある範囲内で使用してください。

⑦安定を確認する。

図のように、がたつきを確認してください。

【注意】《脚位置A,B》は段の高さに調整済みですので変更しないでください。



☞ CHECK !

- ・脚ブロックを取り付けた箇所はしっかり締めているか確認してください。
- ・調整後は、アジャスターの固定用六角ナットをスパナでしっかり締めてください。
- ・アジャスターの調整高さが適正であるか
P5 表：アジャスターの調整高さを見て確認してください。

⑧安全を確認後、走行する。

「使用上のご注意」「走行上のご注意」に従って走行してください。

収納方法

①連結固定金具を取り外す。

②すべての脚を取り外す。

簡易脱着ブラケットが付いたまま、左回しで緩めて取り外し、大切に保管してください。
(再設置する時は、簡易脱着ブラケットが付いた脚を右回しで取り付けてください。)



☞ CHECK !

- ・簡易脱着ブラケットを付けたまま、脚を取り外してください。
- ・脚を付けたまま収納・保管すると、服を引っ掛けたり、体がぶつかったりしてスロープが転倒するおそれがあります。

③立置台に立てて収納する。

立置台に立てた状態で、「保管方法」に従って収納してください。



1.立置台を30cm程度あけて置く。
(たちあがりの低い方を手前にする。)



2.本体の下端側を外し、走行面を手前に向けて奥に立てかける。



3.本体の上端側を外し、下端側の走行面と向かい合わせになるように、手前に立てかける。
(サイドエッジ同士が重ならないようにすると安定します。)

保管方法

走行面を向かい合わせにし、付属の立置台に立てた状態で保管してください。



注意

- ・屋内に保管してください。
- ・ご使用後は汚れを落として保管してください。
- ・直射日光の当たる場所や高温になる場所、または湿度の高い場所で保管しないでください。変形や故障の原因になります。

お手入れ方法

走行面の清掃は毛先の柔らかいブラシでおこなってください。
汚れがあるときは水洗いし、風通しが良い場所で日陰干しをしてください。
汚れがひどいときは、一般家庭用の中性洗剤を使用し、よく水洗いしてください。



警告

以下のものは使用しないでください。

- ・酸性洗剤、塩素系洗剤、アルカリ性洗剤
- ・シンナー、油類などの有機溶剤
- ・クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
- ・研磨剤入りのスポンジ、たわし、ブラシ
- ・高圧洗浄機
- ・凍結防止剤等の融雪剤

製品を傷つけるものを使用しないでください。製品が劣化、破損し事故につながるおそれがあります。

■消毒方法

消毒は、納入業者または消毒施設のある業者に依頼してください。
アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などを推奨します。



注意

以下のものは使用しないでください。

- ・オゾンガス
- ・ホルムアルデヒドガス
- ・オートクレーブ(高圧蒸気滅菌器)

■点検

定期的に点検をおこない、がたつきやねじの緩み、部品の破損、その他異常がないか確認してください。
異常があった場合は、直ちに使用を中止し、施工業者または納入業者にご相談ください。

■スロープの廃棄方法

廃棄される場合は産業廃棄物あるいは大型ゴミとして廃棄してください。
又、各自治体の指定された方法に従い、廃棄してください。

保証書

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
お客様が取扱説明書等の注意書きに従った使用状態で、保証期間内に破損や故障をした場合に本保証書記載内容により無料修理致します。

1. 下記に該当する場合は、保証期間内でも有料修理となります。
 - 1) 使用上の誤りや不注意、改造、修理などによる故障または損傷。
(車以外で使用了した場合、耐荷重を超えた使用や設置ミス等の誤使用)
 - 2) 弊社が示す説明書に基づいた組立て、施工、維持管理を行わなかった場合の故障または損傷。
 - 3) 時間の経過や部品の消耗などによる不具合。
 - 4) 火災、地震、落雷、風水害、塩害、水害、異常電圧など天災地変による故障または損傷。
 - 5) お買い上げ後の移動や落下などによる故障または損傷。
 - 6) その他、製造者の責任でない原因や製造者以外の故意・過失によると判断される故障または損傷。
 - 7) 本保証書のご提示がない場合。
 - 8) 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
2. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japa

<個人情報の取扱いについて>

- 1) 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動やその後の安全点検活動のために利用いたします。
本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
- 2) 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合は、当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

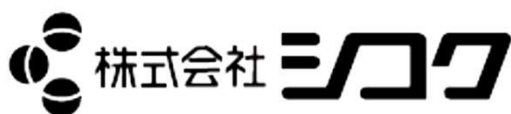
お買い上げ日	年 月 日	お客様
保証期間	1年間	ご住所 〒
品名		
販売店		ご芳名 TEL

上表に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認下さい。もし記入のない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。

修理・お取扱いなどのご相談は、まずお買い上げの販売店にお申し付けください。

※商品の改良のため、仕様や外観、価格は予告なく変更する場合があります。

048-5003A



株式会社

シコク

本 社 工 場

〒769-2402 香川県さぬき市津田町鶴羽1118-15
TEL (0879) 42-1111 (代) FAX (0879) 42-1112

<https://www.sk-shikoku.co.jp>